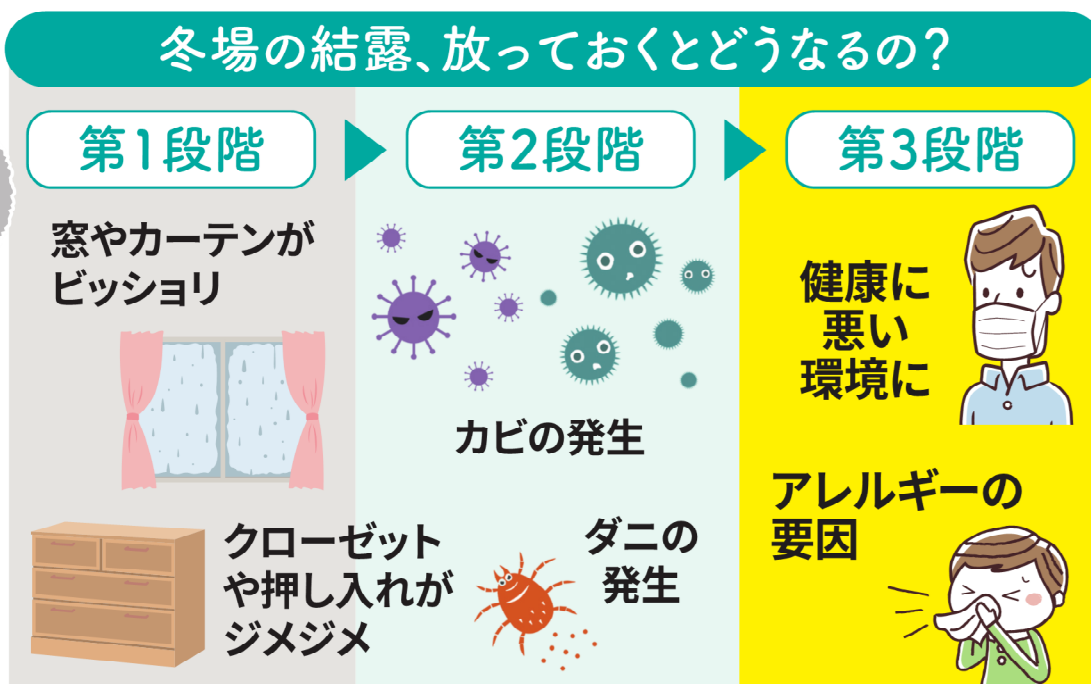




テーマ

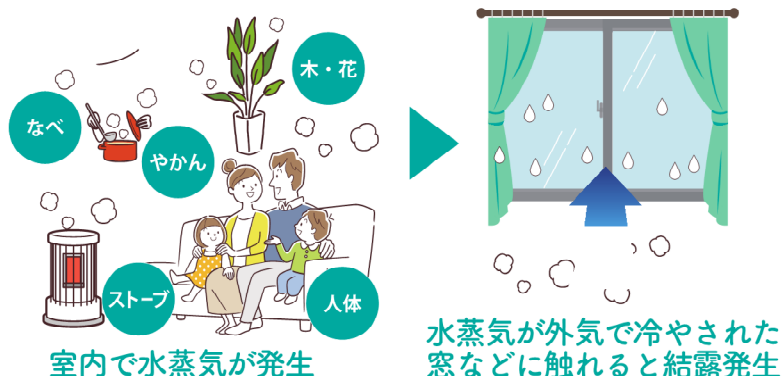
冬場の結露、放っておくとどうなるの？



冬の窓に発生する「結露」は、快適で健康的な生活への注意信号です。なぜなら、結露が原因でカビやダニが発生してしまい、アレルギーの要因など健康トラブルにつながる可能性があるからです。このような健康リスクを減らすためにも、結露を抑える対策が必要。まずは、結露が起きやすい「窓」を見直してみましょう。

室内の余分な水蒸気が「結露」として現れます

■結露の発生のプロセス



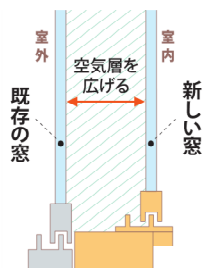
①室内で水蒸気が発生する、②冷たい外気が窓の表面温度を下げる、③水蒸気を含んだ室内の空気が窓に触れる、これが結露発生のプロセスです。冬は、暖房で暖めた室温と外気で冷やされた窓の表面温度の差が大きくなるため、部屋の中に余分な水蒸気がある場合、結露となって窓の表面に現れてしまうのです。

結露軽減のポイントは「窓の断熱」と「換気」

結露対策の基本は「窓の表面温度を下げないこと」と「室内の湿気を抑えること」が重要です。

窓の断熱性を高める

窓の断熱性を高めるため、内窓の設置や断熱窓への交換がおすすめ。外気の冷たさを室内に伝わりにくくすることで結露軽減につながります。暖房効率もアップして光熱費の節約にも。



こまめに室内を換気する

料理中や洗濯物の室内干し中は換気扇をつけたり窓を開けたりしてこまめな換気で室内にこもった湿気を外に逃がしてあげましょう。



除湿で余分な湿気を減らす

クローゼットや押し入れなど、狭くて湿気がこもりやすい場所では除湿機や除湿剤も有効。また、乾燥するからと加湿しすぎるのはマイナスです。適度な湿度を保てれば、結露しにくくなります。



手軽にできる、窓の断熱リフォーム！



断熱内窓（二重窓）インプラス

今ある窓の内側に新しい窓を取付けるだけ。1窓最短1時間のスピード施工で断熱性がアップして、結露も軽減します。

【ガラス選びもポイント】
「Low-E 複層ガラス」に替えれば、さらに暖かく

1窓あたり
約1時間～



取替窓 リプラス

比べて納得！断熱効果

断熱窓をつけた効果をシミュレーション動画でチェック▶



たった半日でゆがみのない開閉スムーズ・快適な窓に。壁を壊さず、室内作業のみ。冬はすきま風や寒さのお悩みも解消。

【ガラス選びもポイント】
「トリプルガラス」に替えれば、さらに暖かく

1窓あたり
約半日～

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

〒244-0815

横浜市戸塚区下倉田町828-10

有限会社 杉本ガラス建材

TEL：045-864-45 FAX：045-864-0138

e-mail：sugimotoglassk@air.ocn.ne.jp

<https://sugimotoglassk.com>

